

5 話題提供

(2) 河川の取組に関する広報について

河川の取組に関する広報について

◆ リーフレットやチラシの配布 【県で作成しているチラシ等】

多くの皆様の避難行動に活用いただけるよう、河川の防災情報等に関するチラシ等を作成し、市町村と連携し沿川住民へ配布したほか、県と企業との包括協定に基づき保険会社からの配布やコンビニ・スーパーへの配架など、積極的な広報に努めている。

デザインリニューアル



小学生向け

自治体施設内の新規配架や、防災講習会等での活用・配布など、来年度以降も、積極的な広報活動へのご協力を、お願いします。
各チラシ等の送付依頼は、河港課河川防災Gまで、ご連絡ください。

河川の取組に関する広報について

◆リーフレットやチラシの配布

【取組 1 県内小学校への配布】

- マイ・タイムラインのリーフレットは、一般向けと、ふりがな付きの小学生向けの2種類を作成。
- 昨年度に引き続き、県内の小学校等へ配布することで積極的に普及啓発を図った。
- 児童への紙媒体での配布を削減している自治体へは電子データで配布した。
- 市町村の教育委員会にアンケート調査を実施し、今後の改善につながる回答が得られた。

【主な意見と今後の対応】

- 低学年には内容が難しいとの意見があり、状況がイメージできる資料として、国交省が作成した動画をご案内する。
- 一部の自治体では、5年生の理科の教科書に、マイ・タイムラインの記載があるため、授業でチラシを活用いただくために配布時期を早める。

マイ・タイムラインシートをつくってみよう

年度	配布実績
R6	566校 280,573部

※私立・支援校を含む
※電子データによる配布を含む



国土交通省下館河川事務所
「マイタイムラインで逃げ遅れゼロ
～洪水から自分の逃げ方をかんがえよう～」

河川の取組に関する広報について

◆リーフレットやチラシの配布

【取組2 防災講座・イベントでの説明】

○自治会等の防災講座での説明

- ・自治会や市町村主催の防災講座などに、県職員が参加し、マイ・タイムライン等の普及・啓発の取組を後押し

○市町村防災イベントでの配布

- ・市町村主催の防災イベントにおいて、マイ・タイムラインのリーフレットを来場者の方へ配布
(大和市・葉山町・山北町他)
→来場者配布資料として事前に市町村へ送付し、当日受付にて配布
→会場内で内容を説明しながら直接配布

○公共施設での新規配架

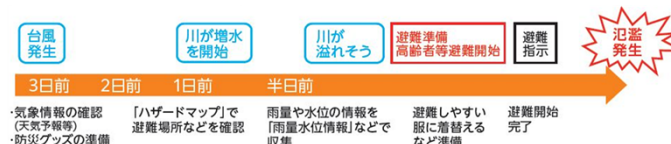
- ・市立図書館への配架（相模原市）

流域治水として、みなさんにできること

避難の行動をシュミレーションする①

■マイタイムラインを作成する

- ・水災害が発生した際に、「いつ」、「何をするのか」を整理した、個人用の防災計画として「マイタイムライン」を作成しましょう。
- ・大雨などで河川水位が上昇した場合を想定して、避難行動を時系列で整理することで、いざという時の行動チェックリストや判断サポートツールとして、役立ちます。



河川の取組に関する広報について

◆リーフレットやチラシの配布

【取組3 スマホで作成するマイ・タイムラインの広報】

- 「Yahoo!防災速報」を県HPや県公報誌に掲載
 - ・アプリ上でマイ・タイムラインを設定すると、プッシュ型通知にて防災情報が届く「Yahoo!防災速報」を県河港課HPで紹介。
 - ・県公報誌「県のたより」6月号にて、「Yahoo!防災速報」を掲載。

2.防災タイムラインの作成方法（例：水害）

// STEP1 アプリをダウンロード

「Yahoo!防災速報」をダウンロードしましょう

// STEP2 自宅周辺の想定危険度をチェック

1  「防災タイムラインを作成する」を選択しましょう

2  画面上部の「水害」「地震・津波」タブから「水害」を選択し、ましょ

県河港課HP「スマホで「マイ・タイムライン」を作成してみよう！」

災害に備えて
「マイ・タイムライン」をつくらう!

マイ・タイムラインとは、一人ひとりの防災行動計画であり、大雨によって河川の氾濫が起きそうなときに、自分自身がとる防災行動を整理するものです。

災害は、いつ起きてもおかしくありません。
マイ・タイムラインを作成し、いつ、どのような行動をとればよいか準備して、自分や家族の命を守りましょう。

マイ・タイムライン作成のポイント

ハザードマップで、自宅やよく行く場所などの危険な箇所を確認してみよう!

雨量や河川の水位、土砂災害等に関する情報を確認してみよう!

目安	数日～約1日前	半日～数時間前	数時間前～2時間程度前	0時間	
警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	避難に関する情報	自主避難など注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保

マイ・タイムラインは、様々な方法で作成できます。

●専用シート ●WEB上 ●スマホアプリ(Yahoo!防災速報)

県河港課 ☎045(210)6491

専用シートやアプリのダウンロードなど詳しくはこちら▶

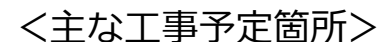
スマホアプリ「Yahoo!防災速報」



◆ 河川の取組の見える化

地域の皆様が安心して暮らしていただけるように、河川の工事などの状況を丁寧にお伝えしていくことが重要であることから、河川の見える化に努めている。昨年度に引き続き、県河港課HP上で、河川事業に係る情報を公開している。

＜県河港課HP：県の河川事業について＞

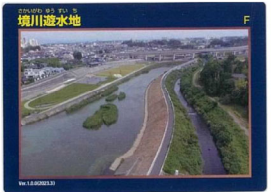


河川の取組に関する広報について

◇ 河川の取組の見える化

【県河港課HPで河川事業に係る情報を公表（遊水地による水位低減効果）】

遊水地によって水位低減効果が発揮された事例を取りまとめ、県河港課HP上で公開。



境川遊水地

所在地 神奈川県横浜市泉区下飯田町

河川名 二級河川 境川

遊水面積 約30ha

総貯水容量 約104万m³

越流延長 380m

流入方式 横断流方式

排水方式 自然排水

本体着工 1994年（平成6年）

完成年 2015年（平成27年）

総事業費 約460億円

※画像は、施設と本事業所のページをご覧ください

こだわりの技術

自然や湧水が豊富な土地の特性を利用して、遊水地に生息・生育する動植物が棲みやすい水辺環境の創出や、園内に噴水広場やせせぎす路などの施設を作り、子供たちが水遊びや水辺の動植物と触れ合うことができるようにしています。

流入実績

年度	回数	年度	回数	年度	回数
平成12年度	2回	平成22年度	1回	令和2年度	1回
平成13年度	2回	平成23年度	3回	令和3年度	5回
平成14年度	3回	平成24年度	3回	令和4年度	1回
平成15年度	4回	平成25年度	4回	令和5年度	1回
平成16年度	2回	平成26年度	6回	令和6年度	1回
平成17年度	3回	平成27年度	3回		
平成18年度	2回	平成28年度	1回		
平成19年度	1回	平成29年度	5回		
平成20年度	3回	平成30年度	1回		
平成21年度	1回	令和元年度	5回	合計	64回

効果事例

- 令和6年台風10号
- 令和3年12月1日の大雨
- 令和3年台風第14号
- 令和3年8月13日～15日にかけての大雨
- 令和6年6月30日～7月4日にかけての大雨

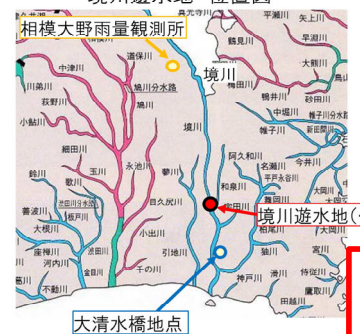
境川 境川遊水地（俣野、下飯田、今田）の効果（令和6年8月 台風10号）

○令和6年8月の台風10号では、境川流域に設定された境川遊水地雨量観測所において、時間最大雨量が41mm、相模大野雨量観測所において、8月29日から31日までの連続雨量332mmを観測しました。

○今回の降雨による洪水では、約924,000m³を貯留しました。（小学校25mプール約2464杯分に相当）

○遊水地下流の大清水橋地点では、約100cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

境川遊水地 位置図

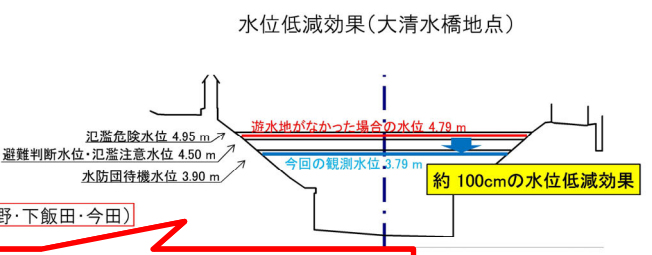


相模大野雨量観測所

大清水橋地点

遊水地への流

水位低減効果（大清水橋地点）



水位低減効果（大清水橋地点）

氾濫危険水位 4.95 m

避難判断水位・氾濫注意水位 4.50 m

水防団待機水位 3.90 m

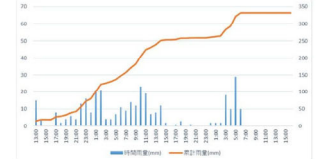
遊水地がなかった場合の水位 4.79 m

今回の観測水位 3.79 m

約 100cmの水位低減効果

**図を用いて
分かりやすく説明**

観測値（相模大野雨量観測所）



俣野遊水地



下飯田遊水地



今田遊水地



＜県河港課HP：境川遊水地＞
※他遊水地も同様の構成

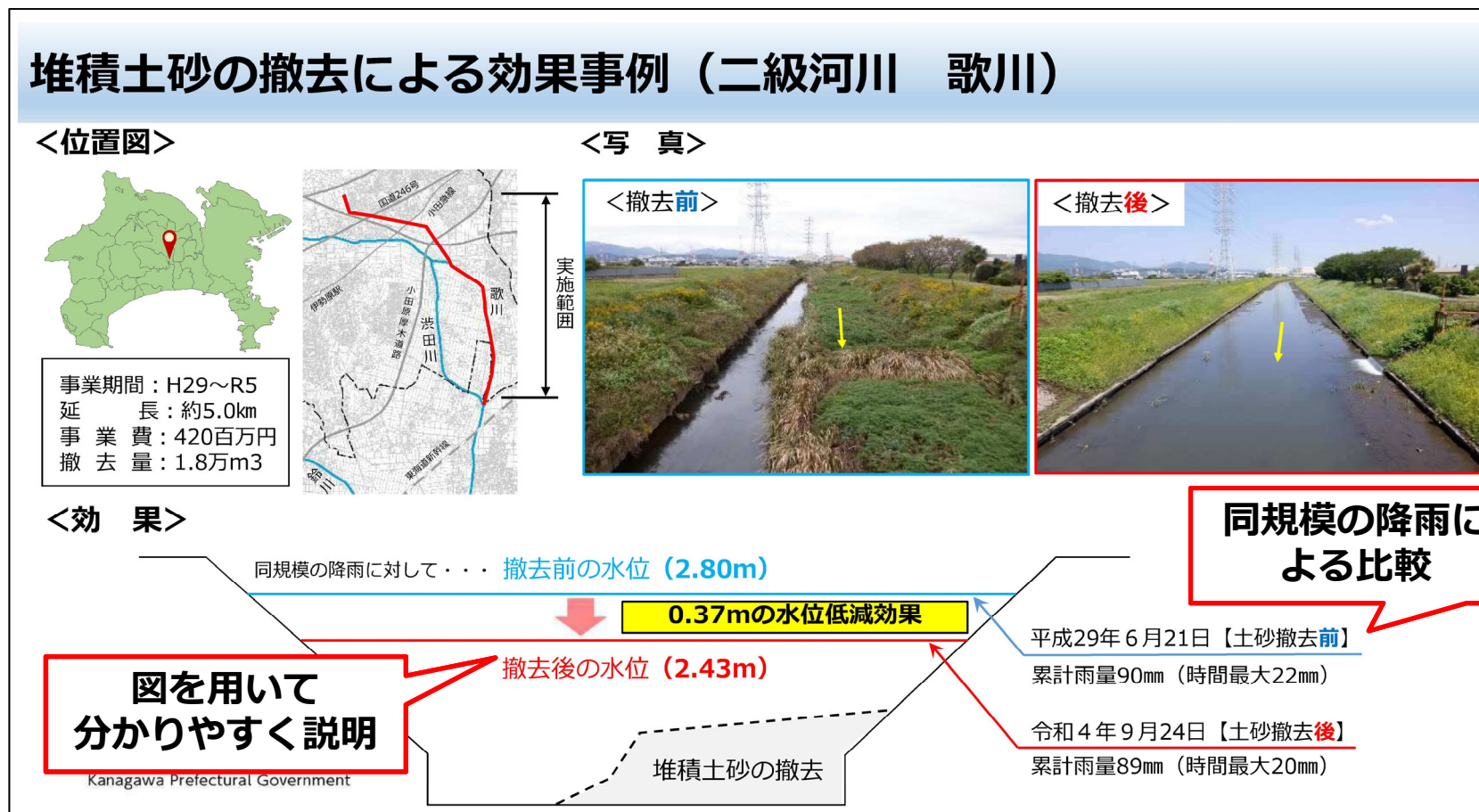
＜境川遊水地の効果（令和6年8月 台風10号）＞

河川の取組に関する広報について

◇ 河川の取組の見える化

【県河港課HPで河川事業に係る情報を公表（堆積土砂の撤去による水位低減効果）】

堆積土砂の撤去による水位低減効果の事例を、県河港課HP上で公開している。



<堆積土砂の撤去による効果事例（二級河川 歌川）>